

秩父宮賜杯

第41回全日本大学駅伝対校選手権大会

開催要項

主催 社団法人日本学生陸上競技連合 朝日新聞社 テレビ朝日 メ〜テレ
運営協力 東海学生陸上競技連盟 愛知陸上競技協会 三重陸上競技協会
後援 文部科学省 愛知県 三重県 名古屋市 伊勢市 日刊スポーツ新聞社
支援 愛知県警察本部 三重県警察本部
特別協賛 JA バンク
協賛 マツダ 三菱 UFJ リース
協力 シチズン時計
企画協力 アサツーディ・ケイ

開催期日 2009年11月1日(日)午前8時10分スタート
開会式 10月31日(土)午後4時「朝日ホール」
(朝日新聞名古屋本社15階)
閉会式 11月1日(日)午後2時30分(レース終了後)「神宮会館講堂」
(伊勢市宇治中之切町)

コースと区間 熱田神宮西門前(名古屋市熱田区神宮)→ 伊勢神宮内宮宇治橋前(伊勢市宇治館町)
8区間 106.8km

第1区 14.6 km 熱田神宮西門前 → 愛知県・弥富市筏川橋西詰(喫茶シャロウ前)
第2区 13.2 km 弥富市筏川橋西詰 → 三重県・川越町高松(中部小松リフト四日市支店前)
第3区 9.5 km 川越町高松 → 四日市市六呂見町(山九四日市支店海山道倉庫前)
第4区 14.0 km 四日市市六呂見 → 鈴鹿市寺家(中勢自動車学校前)
第5区 11.6 km 鈴鹿市寺家 → 津市上浜町(和食東さち屋前)
第6区 12.3 km 津市上浜町 → 松阪市曾原町(元ドライブイン三雲)
第7区 11.9 km 松阪市曾原町 → 松阪市豊原町(JA松阪前)
第8区 19.7 km 松阪市豊原町 → 伊勢神宮内宮宇治橋前

出場資格とシード制 (1)2009年度(社)日本学生陸上競技連合登録競技者
(2)各地区学連から参加するチーム数は19大学とし、各地区学連の代表数は以下の通りとする。
関東6大学、関西・九州各3大学、東北・東海各2大学、北海道・北信越・中国四国各1大学
(3)昨年度上位6校(駒大・早大・山梨学大・東洋大・中央学大・日大)で参加を希望する大学。
(4)総出場チーム数は(2)の19大学と(3)の6大学、オープン参加の東海学連選抜チームを含める26チームとする。

※シード制・基本枠の見直しと入れ替えの詳細は別項の「出場チームについて」を参照。

チーム編成	1チーム13人(監督1、マネジャー1、選手11)をもって編成する。 なおチームエントリーの段階ではさらに選手2人を加えて登録することができる。
申込方法 と場所	主催者から送付される参加申込用紙に必要事項を記入し、2009年10月14日(水)正午までに チームエントリー(チーム編成の項目を参照)を大会事務局へ必着するよう申し込む(チームエントリ ー後の変更は不可)。またメンバーエントリー(正選手8人、補員3人)は健康に関する誓約書を添 えて、2009年10月31日(土)12時00分～12時30分に大会事務局へ持参のこと。 (チームエントリーの用紙発送と同時に大会事務局へ電話連絡のこと)
	本大会の事務局は下記の通り。 〒460・8488 名古屋市中区栄1丁目3番3号 朝日新聞社事業本部名古屋企画事業チーム内 全日本大学駅伝対校選手権大会事務局 電話 052・231・8131(代表) FAX 052・232・0955
監督・マネ ジャー会議	2009年10月31日(土)午後2時から朝日新聞名古屋本社15階「朝日ホール」で行う。
表彰	優勝校には秩父宮賜杯、日本学生陸上競技連合会長トロフィー、朝日新聞社優勝旗を贈呈する。 1位から6位までに賞状・賞品を、また優勝校の監督に優勝監督賞を、各区分優勝者には区分賞 を それぞれ贈る。また、1位から3位までに愛知、三重各県知事賞、特別協賛社から記念品が贈られ る。
競技方法	本大会実施要綱により実施する。
その他	①本大会に使用するたすきは各チームが用意する。たすきは布製で長さ1.6m～1.8m、幅6cm を標準とする。なお繰り上げ用のたすきは主催者が用意する。 ②4区から8区までの各区5km地点付近に給水所を設置。ミネラルウォーター(ボトル)を置く。 ③参加者は健康保険証(コピー可)を持参のこと。 ④本大会参加チーム(13人)への強化費は、参加チームの強化費に関する規定により主催者が負 担する。 ⑤参加申し込みと同時に、宿泊所の斡旋希望校は申し出ること。希望チームには名古屋ホテル旅 館協同組合がコース沿線の適当な宿泊所を紹介する。 ⑥目印とするために、直接、公道にマーキングすることを厳禁とする。 ⑦テレビ朝日系列24局ネットで放映される。